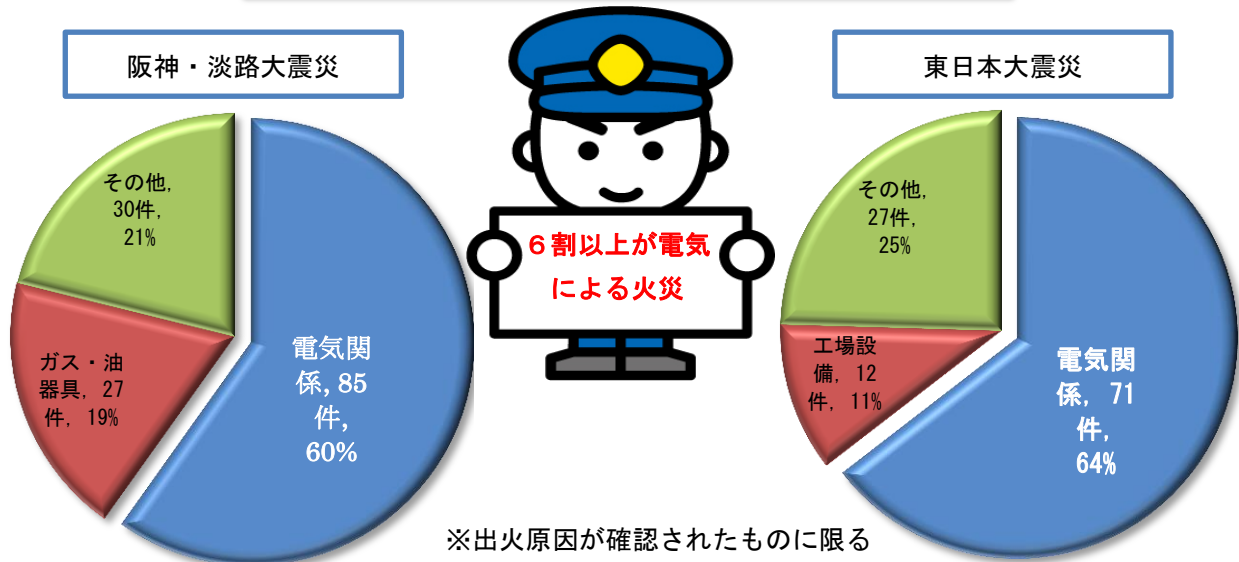


震災時は通電火災に注意！



東日本大震災や阪神淡路大震災で発生した火災の6割以上が電気起因する火災と言われています。**大地震時の電気火災を防ぐには、揺れを感知して自動的に電気を止める「感震ブレーカー」の設置が効果的です。**

大規模地震時における火災の発生状況



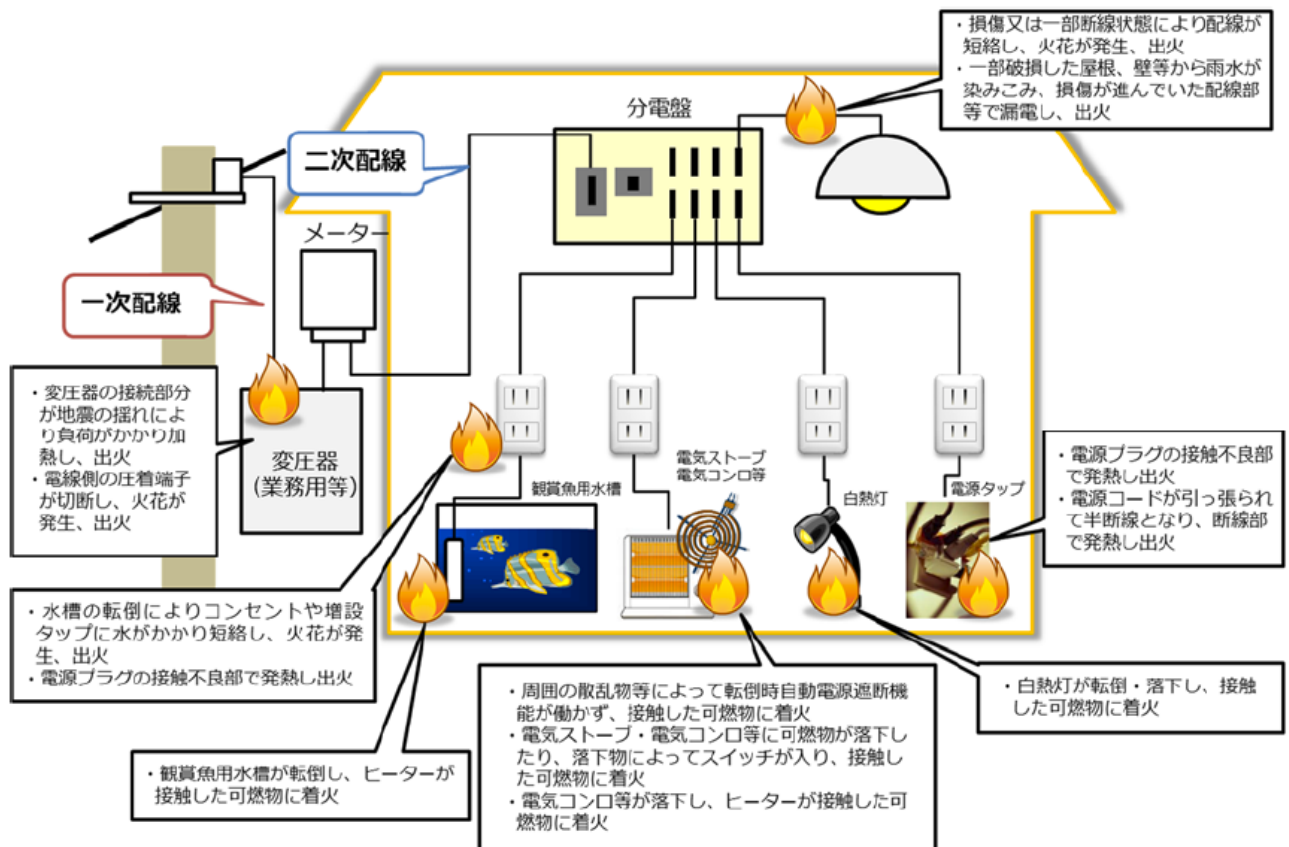
※出火原因が確認されたものに限る

「大規模地震時の電気火災の発生抑制に関する検討会」報告書より

電気に起因する出火の可能性のある主な部位

過去の大規模地震に伴う電気火災の発生事例を踏まえると、家屋等における電気に起因する出火は次の図のような箇所で発生する可能性があります。

「大規模地震時の電気火災の発生抑制に関する検討会」資料より



感震ブレーカーとは？

電気による出火を防ぐためには、避難時にブレーカーを遮断することなどが効果的ですが、大地震発生時にとっさにそのような行動がとれるとは限りません。感震ブレーカーは、地震の揺れをセンサーが感知し、あらかじめ設定しておいた震度以上の場合に『配線用ブレーカー又は漏電ブレーカー等』を遮断する器具で、各家庭に設置することで出火を防止することができます。

一般的なブレーカーは漏電には対応していますが、地震による火災対策には効力はありません。



[内閣府・消防庁・経済産業省発行の資料をダウンロードできます。\(PDF:462KB\)](#)

感震ブレーカーの種類と特徴

感震ブレーカーには様々なタイプのものであり、機能もそれぞれ異なるため状況によって設置するものを選ぶことができます。

分電盤タイプ

分電盤に一定の震度を感知して電気を遮断する機能が付いたもので、基本的には全ての電気が遮断されます。

揺れを感知してからブレーカーが落ちるまでに時間的猶予を持たせているものが多く、その時間を使って避難などを行うことができます。

基本的には全ての電気が遮断されますので、電気を使用する医療器具等があるご家庭などでは、設置について注意が必要です。



コンセントタイプ

コンセントに差し込むタイプと、既存のコンセントと取り換えて埋め込むタイプがあります。個別のコンセントの電気を遮断することができるため、電気ストーブや観賞魚用ヒーターなど熱を発生する器具を接続する箇所が適しています。



簡易タイプ

ブレーカーに直接とりつけるもので工事はありません。一定の震度により『おもり』の玉が落下することでブレーカーを遮断するおもり式や、地震の揺れを内部センサーが感知するとバンドが下降してブレーカーを遮断するバンド式などがあります。



感震ブレーカーのタイプと特徴

	分電盤タイプ	コンセントタイプ	簡易タイプ
揺れを感知してから切断までの時間的猶予	あり	なし	なし
屋内配線への通電を遮断	○	×	○
コンセントへの通電を遮断	○	○	○
電源コードへの通電を遮断	○	○	○
各電気機器への通電を遮断	○	○	○
工事の要否	必要	埋め込むタイプのみ必要	不要
価 格	約5～8万円(内蔵型) 約2万円(後付型)	約5,000円～2万円	3,000～4,000円程度

避難のために、保安灯（補助灯／非常用照明器具）の設置をお勧めします！

揺れを感知してから切断までの時間的猶予が無いタイプの感震ブレーカーの場合、照明類も即座に消えてしまう場合があります。夜間に地震が起きた際は、例え自宅であったとしても暗闇の中での避難はとて難しく、転倒した家具や割れたガラス・陶器などで怪我をする可能性があります。更に、地震の恐怖と暗闇の不安によってパニック状態に陥りかねません。

停電すると自動で非常用の照明が点灯する（補助灯／非常用照明器具）などをあらかじめ設置しておく、感震ブレーカーにより照明が消えても安全に避難などが可能になります。



感震ブレーカーの規格について

規格と認証マーク（JEWA 一般財団法人 日本配線システム工業会）

感震ブレーカーでも分電盤タイプについては、『JEWA 一般社団法人 日本配線システム工業会』が自主規格を定めており、会員事業所は認証マーク付きの分電盤を販売しています。

<p>住宅用分電盤規格適合印 高機能 日本配線システム工業会 見本</p>	<p>※JEWA が定める規格について 過電流警報機能付・感電機能付・避雷機能付を高機能住宅用分電盤とし、JWDS0007付1、0007付2、0007付3で規定しており、規格に適合する製品には左の認証マークが貼られています。感震機能は JWDS0007付2で規程されています。</p>
---	--

※【コンセントタイプ】【簡易タイプ】に関しては現在規制はありませんが、コンセントタイプは電気用品安全法に適合させる必要があります。

消防防災製品等の推奨（一般財団法人日本消防設備安全センター）

一般財団法人 日本消防設備安全センターでは、消防防災分野において有効に活用できると認められる製品等に「消防防災製品等推奨証」を交付しています。交付された製品等には右の『推奨マーク』が表示されています。



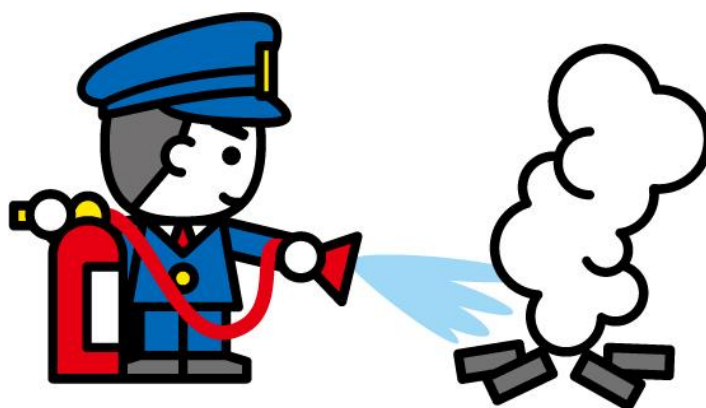
※推奨マークは、一般財団法人日本消防設備安全センターの登録商標です。

[推奨商品等の情報はこちらです。（日本消防設備安全センターのホームページ）](#)

感震ブレーカーの他にも火災予防対策を!!

感震ブレーカーは通電火災対策には大変有効です。しかし、地震による火災の原因は通電火災だけではありません。ガスによる火災、石油ストーブなどの暖房機器による火災など様々なことに気を付けなければいけません。

感震ブレーカーを取り付けたからといって、過度な安心感を持つのは避けましょう。もしもの時のために住宅用の消火器を用意するなど、二重三重の火災予防対策を講じることが必要です。



問い合わせ

甲府地区広域行政事務組合消防本部

予防課予防係

電話 055-222-1291（直通）

055-222-1190（代表）